

令和7年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

瑞穂市青少年育成市民会議

令和7年度 瑞穂市青少年育成市民会議スローガン

「創ろう！安心できる場所 育てよう！未来を担うみずほの子」

＜地域における実践活動を推進する三部会＞

- ①明るいあいさつがまちにあふれ、市民が青少年をあたたく見守る“まちづくり部”
- ②青少年が地域の活動に参加し、地域のひととふれあい、協力してつながる“地域づくり部”
- ③青少年が家庭、学校、地域の中で人と支え合い、助け合いながら成長できる“人づくり部”



【 あいさつ運動の日の様子 】

1 まちづくり部の重点活動 【 あいさつ運動・見守り活動 】

地域のみなさんのご協力により、毎月最初の授業日に、市内の各小中学校や通学路では、登校してくる子どもたちを見守りながら、たくさんの「あいさつ」をしています。今年度は、中学生が小学校に行き、小学生と合同であいさつ運動を行う取り組みがより広がってきました。中学校区ごとに日にちを決め、自主的に取り組んでいます。あいさつ運動を行うことで家庭、学校、地域など人と人、社会全体のつながりや信頼を深め、助け合いの心を育てることができると考えています。あいさつ運動が習慣化されていくと、防犯や非常時のコミュニケーションにも効果を発揮し、よりよい社会の環境が整うと考え、取り組んでいます。



【 小中合同あいさつ運動の様子 】

2 地域づくり部の重点活動 【 ラジオ体操の日・校区活動 】

8月の第1日曜日を「市民ラジオ体操の日」として位置付け、各地区で一斉に取り組んでいます。子ども会、自治会、校区活動委員会、社会教育推進員等が協力をし、地域の実情に応じたラジオ体操活動を工夫しています。また、地域によっては、中学生が皆の前に立ってラジオ体操をリードしたり、ラジオ体操後に清掃活動などの行事を計画し、地域で協力する機会を設けたりしています。暑さ対策等、課題もありますが、夏休み中、子どもたちは家庭・地域で過ごすため、子どもたちを見守り、支える機会として取り組んでいきたいです。また、校区活動として、運動会、ウォーキング、祭り、サロン、フェスタなどが、子どもたちにとって体験の場、そして活躍の場となるよう取り組んでいます。



【 市民ラジオ体操の日の様子 】

3 人づくり部の重点活動 【 ボランティア・清掃活動 】

子どもたちは様々な団体から声をかけてもらい、地域の活動にボランティアとして取り組んでいます。子どもたちは、一緒に活動する中でかけてもらう「ありがとう」「助かったよ」という言葉にやりがいを感じています。子どもたちの自己肯定感を高めることにもつながっていると考え、取り組んでいます。例えば、地域のお祭りに、小中学生に加えて高校生も参加して、運営を手伝ったり、ゲームコーナーを中学生に運営を任せて運営したりするなどしています。また、河川クリーン活動に、たくさんの中学生在が参加し、地域の方と一緒に清掃活動を行ったりしています。



【 ボランティア活動を行う中学生 】